

2006/11/18 第3回ステークホルダー会議資料

班別討議にあたって

なごや循環型社会・しみん提案会議
実行委員会

①本日の“班別討議”のねらい

その1

アンケートの回答を基に、
自分の意見を主張してください。

- どうして、この選択肢を選んだのか？
- 「その他」で記述した内容の説明を！

その2

他のステークホルダーの意見をよく聞いた上で、
考えたことを述べてください。

- 歩み寄れる点、譲れない点は？
- 考えが変わった点は？

その3

討議の内容を整理してください。

- 合意点・合意できない点の確認
- 合意できなかった場合→その理由や背景

②本日の“班別討議”で取りあげるテーマ

限られた討議の時間を有効に活用するため
質問の構成で示した 10個の“くり”それぞれを1テーマとして扱います。

①不要物の削減、ごみ削減

②生ごみ対策

③リサイクルの方向性

④焼却の方向性

⑤埋立の方向性

モノの流れに即した質問

⑥費用負担、ごみ有料化など

⑦意思決定、取組みの場、役割分担

⑧教育・人材育成

⑨情報・コミュニケーション

⑩価値観・ライフスタイル

ヒト・社会の関わりについての質問

3

③本日の“班別討議”の方法

各グループごとに、4つのテーマを討議していただきます。



4つのテーマのうち、

- 2つは**必須テーマ**(主催者サイドから指定させていただきます)
- 残りの2つは**自由選択テーマ**(グループで選択して下さい)とします。

		Aグループ	Bグループ	Cグループ		
自由時間 (135分)	討議①	必須テーマの時間 (順番はグループで決めてください。)			時間がかかる テーマもある と思いますが、 少なくとも 3つは討議 してください。	
	討議②					
	討議③	自由選択テーマの時間 (テーマ・順番ともにグループで決めてください。)				
	討議④					

4

④テーマの設定

		Aグループ	Bグループ	Cグループ
自由時間 (135分)	討議①	主催者サイドで割り当てを行います。 (討議の順番はグループで決めてください。)		
	討議②			
	討議③	グループで自由に選択してください。		
	討議④			

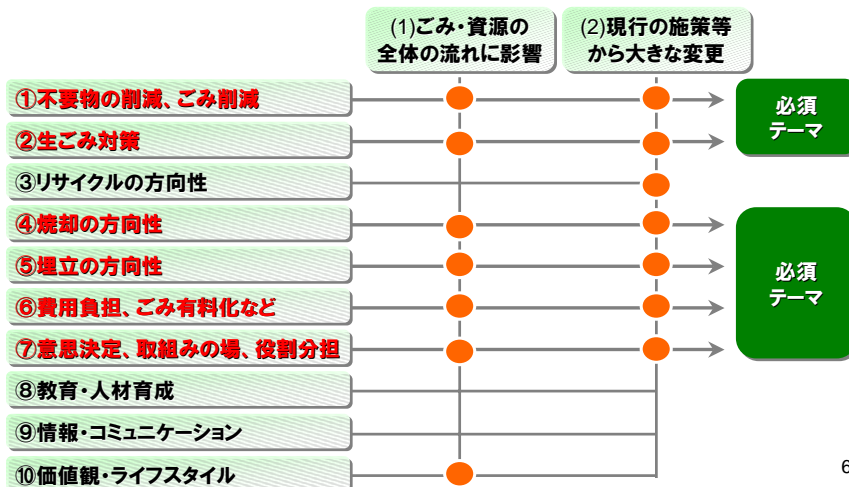
**必須の2テーマを除いた
8テーマの中から、2つ選択してください。**
(他グループと重複しても結構です。)

5

⑤必須テーマについて

次の2つについて、特に影響すると考えられるものを必須テーマとしました。

- (1) ごみ・資源の全体の流れを左右するテーマであること。(個別テーマは来年度)
- (2) 現状の施策や仕組みからの大きな変更が求められるもの。



6

⑥-1 Aグループの必須テーマ

必須テーマ

⑥費用負担、ごみ有料化など

- 「ごみ有料化」には多くが賛成。
- 一方、「非協力者対策」や「得をする仕組み」では、“有料化(負担)”や“得”よりも啓発を重視。
- “有料化(負担)”や“得”の位置づけは？意識啓発との関係は？

テーマ設定の背景

- 全体的に有料化への賛成意見が多い中、比較的**反対意見が多い**。(問14)
- “得をする仕組み”に対しても、「**得でなく意識啓発を**」の意見が半数を占める。(問18)

“負担や得”と“意識啓発”
の関係、あり方の徹底議論を！

必須テーマ(2)

⑦意思決定、取組みの場、役割分担

- 今後の方針決定については“全てのしみんで”の意見が多い。
- 一方、具体的な役割分担は、「従来通り行政中心」の意見も多い？

テーマ設定の背景

- 方針決定については、「全てのしみんで」の意見が多い中、「**行政が中心となって**」の意見が比較的**多い**。(問22)
- ごみ処理・リサイクルの役割分担(行政か？企業か？)の質問は、Aグループからの意見に基づいている(前回会議)。(問23)

“しみん”の具体的な役割分担
についての徹底議論を！

⑥-2 Bグループの必須テーマ

必須テーマ(1)

①不要物の削減、ごみ削減

- ごみ減量でよいか？資源の減量も必要か？
- ごみ・資源の減量は、モノの流れの上流を含めた取組みが不可欠。この考えの共有は図れるか？

テーマ設定の背景

- 「ごみ・資源の両方の減量が必要」の意見が8人中6人と多いが、「**資源の減量は不要**」の意見は**企業サイド・市民サイドの両方から1件ずつ**でている。(問1)
- 一方、発生抑制の推進主体は「**どちらかという市民**」の意見が**2件**と、他グループより多い。(問2)

何を減量？誰が推進？
の徹底議論を期待！

必須テーマ(2)

②生ごみ対策

- 生ごみそのものの減量は多くが賛成。一方、生ごみリサイクルの方法は意見が分かれる。
- 家庭や地域単位の取組みか？市全体の取組みか？

テーマ設定の背景

- リサイクル方法については、「**全市分別収集**」の意見が**半数**を占める一方、**地域単位の取組み、左記2つの組合せなどの意見も**出ている。(問11)

生ごみリサイクルの
方法について徹底議論を！

⑥-3 Cグループの必須テーマ

必須テーマ(1)

④焼却の方向性

- 焼却量の最少化には多くが賛成。減らし方については、様々な意見がある。
- エネルギー回収の優先順位も含めた焼却処理のあり方の検討が必要。

テーマ設定の背景

- 焼却量の減らし方では、「ごみそのものの減量」を重視。(問6)
- 焼却+エネルギー回収を「**必要な機能**」とする意見が多いものの、その優先順位について、付帯意見も出ている。(問20)

焼却量の減らし方、エネルギー回収の位置づけ(優先順位)についての徹底議論を！

必須テーマ(2)

⑤埋立の方向性

- 埋立量の最少化には多くが賛成。将来は“埋立ゼロを”の意見も多い。
- 埋立量について、“最少化”や“ゼロ”の解釈…共有が必要。

テーマ設定の背景

- 「埋立のあり方(問7)」では2人、「減らし方(問8)」では1人、**無回答の方がいる**。(討議を通じた意見表明を！)
- 最小化やゼロの解釈については「**埋立ゼロの覚悟がないと、最小化による延命利用もできない**」といった付帯意見も出ている。(問9)

“最少化”や“ゼロ”について徹底議論を！
理想像か？実現すべき目標か？